

## 議会報告会での質疑・意見及びその回答

別紙3

平成26年11月17日(月) 八幡西生涯学習総合センター(コムシティ)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>① 私は体が弱くて仕事を辞め、福祉の活動をしています。認知症の方や障害のある方にお会いしましたが、その母親たちも頑張っています。八幡西区は高齢者が市内で一番多いと聞いています。若いボランティアの人も多くなっていますが、まだまだ少ないです。どんどん広がって、若いボランティアの人たちと一緒に活動をしていけるといいなと思います。</p>	<p>高齢者の問題については、介護等は病院ではなく、地域や家庭でという国の方針のため、地域の皆さんがいかに取り組んでいくか、そして助け合いをしていくということが重要になってきています。本市は政令市のなかでも高齢者が多いということは十分承知しており、議会としても高齢者が住みやすいまちづくりにしっかり取り組んでいきたいと思えます。</p>
<p>② 緊急速報メールを使った全市民参加防災訓練を実施されたという報告がありました。確かこのとき不具合があったと聞いています。それに対する改善はどうなっていますか。</p>	<p>9月1日10時、本市全域に緊急速報メールが流れましたが、八幡西区では、ある通信会社のメールが流れなかったということがありました。議会でも質問がありましたが、現在は改善対策が図られたという答弁がありましたことをご報告させていただきます。</p>
<p>③ 小中学校のトイレ洋式化は、どのような背景で取り上げられたのですか。</p>	<p>家庭が洋式トイレに切り替わっていくなか、和式トイレに馴染みのない子どもたちが増えたためです。現在、ほとんどが洋式のトイレに切り替わっていると聞いていますので、今後、改修のチャンスがあればさらに広げていきたいと思えます。1カ所あたり数百万円の改修費がかかりますので、財政的なことに関しましても議会で呼びかけていきたいと思えます。</p>
<p>④ 財政が厳しいなかで、トイレ洋式化100%を達成するというのは、本当にやるべきことなのでしょうか。また、アジア圏など異文化の場所に出かけていくとき、洋式トイレが当たり前にあるかどうかは疑問です。文化ということからも、全て洋式化するというのはどうなのでしょう。</p>	<p>体育館だけは避難所として利用するため、全て洋式化にするよう進めています。学校の1階部分には必要だが、空き教室もある4階までは必要ないとの議論もあります。また、ご質問いただきましたように、文化という観点から和式トイレの存在も必要ではないかという意見もあります。</p> <p>トイレの洋式化については、決算特別委員会の市長質疑で審議されましたが、すべての会派、すべての議員の声を集約したものではありません。ただいまのご意見を含め、今後議会のなかで議論を進めていきます。</p>

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑤ 少子化対策について、子どもの医療費に関して本市は他の自治体からみても少し遅れています。若い世代の結婚・出産・子育てについて、抽象的なことではなく、具体的な今後の取り組みを聞かせてください。</p>	<p>本市は、政令市のなかで高齢化率が一番高く、現役世代が少ない。しかし、一人の女性が生涯に産む子どもの数、合計特殊出生率は県平均、全国平均よりも高いということで、子どもを産む平均は少し高くなっています。こういう環境のなか、いかに経済的な負担軽減ができるのかが課題と思っています。震災の復興に使うということで地方公務員の給与削減、特別なカットがありましたが、こうしたことも地域経済にも及ぼす影響が大きかったと思います。今の子育て世代の経済的な負担が大きくなっていること、賃金が上がらない状況には、問題意識を持って子育て世代の応援ができるよう、本当に子どもが産める社会の実現、安心して産める社会の実現に取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>医療費に関しては、本市は多少遅れています。県の補助金が政令市の福岡市と本市は4分の1であり、県内の他の市町村は補助金が2分の1出ています。その違いで、なかなか前に踏み込めていないというのが現状です。現在、入院費は中学3年生まで無料で、小中学生は一部自己負担がありますが、通院費は小学校就学前までとなっています。議会のなかでは、これを少しでも引き上げていくべきではないかという議論をしています。</p>
<p>⑥ 若い世代の雇用問題について、抽象的なことではなく、具体的な今後の取り組みを聞かせてください。</p>	<p>議会のなかでは、AIMビルのなかに若者ワークプラザがあること、労働ハンドブックを更に活用して高校生・大学生・指導教員に対して働きかけてほしいという答弁がありました。雇用という点では、本市は企業数の9割以上を占める中小企業対策を進めています。「新成長戦略」のなかで、中小企業こそが重要だという議論を決算特別委員会のなかでもしています。常任委員会では「中小企業振興条例(案)」も議論されました。</p> <p>本市は若年者の雇用創造チャレンジ事業ということを行っています。この目的として、中小企業等市内の民間事業者の皆さんが新しい事業に取り組んだり、従来の事業に創意工夫を加えることで、事業を拡充する際に必要となる若年者の新規雇用に対して、補助金を交付することによって、事業を雇用の面から支援し、市内の正規雇用拡大と産業振興を図っていくというものです。議会としては、若者が就労し、安定して結婚、出産、子育てできるよう全力で取り組んでいます。</p> <p>本市では、公共事業でも市内の事業所を優先に発注したり、障害者の事業所の製品を優先的に使うようにしています。</p>

平成26年11月17日(月) 八幡西生涯学習総合センター(コムシティ)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
⑦ 私は、一生懸命に税金を支払っているのですが、滞納について、未納はどのくらいあるのか聞かせてください。	<p>未収金は約43億円です。これは、市税のなかで収入済額が約1,565億円に対して未収なのが約43億円という割合です。未収金の問題は、執行部も議会も重く受け止めており、税金を納めている方が非常に不公平感を感じるというのは社会として大きな問題です。期間が経過すると回収不可能となるので、未収額をどうやって回収するのか市としても力を入れて取り組んでいます。</p> <p>保育関連で未収額が毎年約1億6千万円ほどあります。内訳としては、過年度分の未収額が多く、過年度分については市税事務所と協力して徴収可能、差押可能な財産を保有している方には、法的に差押えたりということも行っており、昨年度は55件、実際に実施をしています。税の部署も真剣に取り組んでおり、徴収をきちんと行うように努力していることは、議会でも聞いています。</p>
⑧ この意見に回答はいいませんが、抽象的な言い方になりますが、お金がないというのに、税金をあんなことや、そんなことに使わなくていいのではありませんか。	貴重なご意見として承っておきます。

## 議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成26年11月19日(水) ウェルとばた

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>① 3,000m滑走路を実現することが、なぜアクセスバスの設立につながるのですか。</p>	<p>3,000m滑走路を実現することで、国際線が飛ばせるようになり、たくさんの利用客が訪れることにつながります。空港の利用客が増えれば、バスの利用客も増えると思われ、良い方向につながって行くのではないかと考えています。</p>
<p>② すべての市民センターに地域包括支援センターブランチの設置とはなんですか。ブランチがわかりにくく、日本語でわかりやすいようにしたらどうですか。</p>	<p>市民センターに地域包括支援センターの支店を置くという考え方です。区役所に1つでなく門司区だと20数カ所の市民センターがあり、そこは市民が地域のなかで一番行きやすいところなので、より行きやすく相談しやすい形を作っていこう、より市民の方から意見を受けやすいようにしようという取り組みです。また、ブランチなどわかりにくい言葉はわかりやすくしていきたいと思います。</p>
<p>③ 市民センター自体が大きくないので地域包括支援センターブランチをおくなどのいろいろな機能を持たせても大変だと思います。それよりもサロン(交流の場)等がもっとたくさん、医療機関や施設にあったほうがよい。現状、病院から退所させられた人が集まる場所がなく巡回や窓口の設置は行政的な感じがしています。相談窓口よりも交流する場を増やしてほしいと思います。</p>	<p>市民目線で実態に応じた大変貴重な意見ありがとうございます。高齢化が進み、病院や施設等にもなかなか入りにくいなか、家族や地域でしっかり支えていこうという在宅介護の課題については、今後も委員会等で参考にさせていただきたいと思います。</p>
<p>④ 少子化対策について、市独自の目玉になるような対策はないですか。</p>	<p>佐賀の武雄市では、お結び課という部署を作って対策を行っているところもあり、本市では現在のところ先進地の状況などいろいろと調べているところです。今後、踏み込んでやっていきたいということなので、来年度の施策に何らかの形で反映されるのではないかと期待しているところです。</p>
<p>⑤ 多子世帯・大家族に対する支援はないですか。</p>	<p>住宅支援などで例えば市営住宅で人数が多い家族への支援などはあります。議会では、単世帯だけでなく、親と同居することによって何らかのメリットがあれば良いという意見が出ています。今後、介護を担うには単世帯だけではなく、なるべく親・子・孫が住めるような住宅といった取り組みが必要と、議員の共通項として認識していますので、今回のご意見を踏まえて取り組んでいきたいと思います。</p>
<p>⑥ 市営住宅3DKは、多子家族には厳しいです。家を探しているが、賃貸は難しく、物件がありません。家を買うにも難しく、何とかならないでしょうか。</p>	<p>ご意見いただいたことをしっかり踏まえて取り組んでいきたいと思います。</p>

平成26年11月19日(水) ウェルとばた

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
⑦ 市民センターの館長の任期を5年から6年にし、3年・3年で交代をしてほしい。よい館長はとどまらず異動して他の地域をよくしてもらいたいと思います。	法的なこともあると思います。5年のなかでどのように回していくのかは、工夫できると思いますので、いろいろと議論させていただきたいと思います。
⑧ 空き家対策の課題は主に解体費用の捻出ができないことへの対策だと説明にありましたが、判定が難しいとかいうことなんすか。	解体費用が高額なためその費用が捻出できません。しかし、解体家屋等を買えばその費用が捻出できます。しかし、八幡東区と門司区は特に問題が多く、新日鉄やJRなどの関係により、道路が非常に狭くなっており、対象物件がなかなか売れません。売れないため、結局は解体費用を捻出できないということになっています。
⑨ 解体費用が捻出できないということで放置された空き家を解体すると固定資産税が6倍に上がるということですが、そうすると補助があっても税金の負担が増えるため解体できなくなるのではないですか。また、そこに新しく家を建てると固定資産税は上がらないのですか。	空き家でも家がある限り、固定資産税が6分の1になります。更地にすれば固定資産税が6倍になります。そのため、なかなか更地にできません。この件は国も問題視しており、現在、これを変える法案が国会で出されています。まず、空き家が非常に危険な状態で放置されている場合は、6分の1の特例をなくそう、そして更地にした時にも、一定期間6分の1を続けようというものです。おそらく今回、国会で通る予定だと聞いていますので、本市もそうなると思われます。 また、固定資産の税情報が使えるよう法改正する予定で、空き家の持ち主がはっきりすることと税制の面で空き家対策の課題はある程度は解決すると思われます。
⑩ 企業を誘致して税収を確保するという話がありますが法人市民税よりも個人市民税の方が多いようなので個人市民税を増やす対策があれば教えていただきたいのですが。	本市は自主財源の核である個人市民税が大変低く、他の政令市に比べても脆弱です。個人市民税を伸ばせればというご意見ですが、本市は政令市のなかで、高齢化率が一番高く、この3月で27%を超えています。現役世代が少なく年金暮らしの方が多いなかで、収入を増やしていくのは難しいことです。今回、個人市民税が上昇しているのは、株高による株式の譲渡益で儲かった方の収入が増えたことも1つの要因です。本市としては、人口を増やして、現役世帯を増やしていくことで、収入を安定させ個人市民税を増やす対策を考えていますが、市民の皆様の意見も頂戴して進めていきたいと思っております。

## 議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成26年11月21日(金) 議場

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>① 「地域支援コーディネーターの設置」というプランの具体的な内容を教えてください。</p>	<p>国の方針により、現在高齢者は施設ではなく在宅で、家族で支えようという考え方になっているなか、本市では、地域包括支援センターを中心とした高齢者への支援強化や、介護保険等サービス、24時間巡回サービス、順次対応サービスなどの充実、地域包括ケアシステムなどの取り組みがあり、それら地域のふれあいネットワークをつなげていくものです。ほかにも、地域包括支援センターブランチの設置により、相談窓口を広げて取り組んでいきます。</p>
<p>② 合計特殊出生率とは何ですか。</p>	<p>1人の女性(15歳から49歳までの年齢の女性)が、生涯に産む子どもの人数の平均値です。</p>
<p>③ 自然災害について、ボランティアや災害支援物資等を、必要な時に、必要な所に、必要な物を、必要な人を、配布・配置するシステムが北九州市や福岡県全域であるのですか。</p>	<p>災害時の対応は大きく3つあり、1つは備蓄しているものや人員体制、2つ目は他都市や民間などの物資の提供や輸送の援助、3つ目は善意の物資やボランティアの対応です。1つ目に関しましては、本市では災害にあわせて一定の水や物資を備蓄しています。人員体制は、災害時に対策本部を早急に設置し、避難所に多く人を置くことを進めています。2つ目は、特に災害後の最初の3日間は物資の配布が重要な時期のため他都市から支援をってもらうシステムの協定を結んでいます。 ご質問のありました件は、3つ目のボランティアで人が集まったけれどもする業務がない、物資はあるけれども行き渡らないという問題ですが、まだ解決できていません。今年、広島市で土砂災害があり、その経過のまとめを聞いて、本市の今後の対策を検討しています。その他、社会福祉協議会のボランティアリーダー登録制度を市民センターで行っているところです。</p>
<p>④ 北九州空港の滑走路を3,000m化することで、海外便が出せるようになり、24時間営業を実現する。これが新北九州空港建設の大きな目標の1つだと思いますが、今の進捗状況を教えてください。</p>	<p>現在、24時間営業できるように、その元となる物流を活用することについて国と交渉し、関係者と話し合っているところです。本議会でも取り上げ、議員全員で国にも要望しているところです。</p>
<p>⑤ 在宅介護の問題で、市で施設を作ったり、サービスを充実させたりするという提案でしたが、民間事業者やNPO等の連携は考えていないのですか。もし行っているのであれば、具体的に聞きたいのですが。</p>	<p>市だけではなく、民間事業者やNPOとの連携も視野に入れながら取り組んでいます。ボランティア制度もあり、介護支援ボランティアに1,000人以上登録いただいています。実効性は6割程度で、まだ認知度は低い現状です。24時間体制をとるためには、介護施設、市営住宅などに介護施設が付いた老人ホーム、医療施設関係を入れた地域づくりを進めていこうとしています。</p>

平成26年11月21日(金) 議場

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑥ 臨時対応サービスや定期巡回を行う事業者・事業所などを拡大していくということですが、空き家対策と絡めて、空き家の固定資産税を安くして借り、介護施設を改築して作るというのは難しいのですか。</p>	<p>放置された空き家で、まだ住めるところには介護施設等に利用できるような施策を検討していきます。 「空き家バンク」制度というのがあり、そこでリノベーション、ある施設とある施設を融合して、ケアハウスやデイサービスなどに使っているところがあります。その制度を大いに利用して、今後空き家がなくなっていくように努めていきたいと思えます。</p>
<p>⑦ 防災対策について、小倉駅北側にできる新スタジアムの津波対策・地震対策はどのようになっているのですか。</p>	<p>考えられる災害は地震と津波ですが、埋立地なので液化化という問題もあります。地震対策について、大震災が起こった都市を視察して、はっきりしたわかったことは、建築基準法の基準を超える震災対応がされている建物は残り、対応していない建物は倒れています。新スタジアムについては、いろいろな方法で地震対応をとります。津波に関しては、本市で予測されている津波の高さは、南海トラフ地震を含めて4mです。現在のスタジアムで計画されているのは、20～30mへの対応です。想定されている4mよりは高い対策をとることにしています。液化化について、地震が起きても液化化対策をとっているところは大丈夫です。</p>
<p>⑧ 「北九州市空き家バンク」制度の年間利用率はどのくらいですか。</p>	<p>年間利用率は後日ホームページで回答しますが、本市の空き家は崩壊しそうな人が住めない空き家が多いと聞いています。</p>
<p>⑨ 平成26年度からの住民主体のモデル事業について、避難訓練のやり方について、各区で行う訓練と校区で行う訓練の違いについて教えていただきたいのですが。</p>	<p>「みんなdeBousaiまちづくり推進事業」に関連するご質問をいただきましたが、災害は場所によって種類が違います。海沿いの校区では高潮や津波、山沿いの校区では土砂崩れ、川沿いの校区では河川の氾濫などの心配があります。校区においてどのような災害が想定されるのか、地域の問題を明らかにして、より具体的に対策を立てる必要があり、そこに住んでいる人たちが防災訓練を行うことが重要です。事前に地域ごとに防災計画を立て、訓練を行うことが人命救助につながることは東日本大震災で明らかで、平成26・27年度のモデル事業で、今後各校区に広げていこうと進めています。</p>
<p>⑩ 本会議の傍聴に来られない人もいます。県議会は発言議員の氏名が掲示されているので、市議会だよりも発言議員の氏名を掲載してほしいのですが。</p>	<p>市議会でも発言議員の氏名の掲載について議論は行っているが、まだ結論には至っていない状況で、今後も議論を進めていきます。</p>
<p>⑪ 複合型の介護施設について、まだ始まったばかりの政策ということでしたが、今後の進捗状況はどのような方法で把握できるのですか。</p>	<p>進捗状況については、市のホームページでお伝えしています。</p>

平成26年11月21日(金) 議場

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑫ 高齢者有料賃貸住宅が以前ありましたが、これに代わってサービス付きの介護住宅ができていますが、これについて、北九州市で特別な政策や補助がなどはあるのか教えていただきたいのですが。</p>	<p>ご指摘のとおり、特別な政策や補助について進めていくことが重要なため、皆様のご意見を伺いながら進めていきたいと考えています。ただし、あまり進んでいないのが現状です。</p>
<p>⑬ 少子化問題というと保育所や出生前施策が重点的になるが、母子、父子家庭や一人っ子の問題はなかなか注目されない。学童保育は保護者の要望に近づいてきてはいるが、サービスや施設の老朽化など問題も多い。放課後対策について教えていただきたいのですが。</p>	<p>放課後対策について、全議員重要な課題と認識して取り組んでいます。学童保育は全児童化など着実に進んでいます。今後、研修制度などさらに充実していく予定であり、委員会のなかでもさまざまな意見が出ていました。児童は少子化で減少していきますが、共働きが増えていくと予想されるので、今後子どもたちに対する配慮も含めてしっかり取り組んでいきます。</p>
<p>⑭ 教育訓練について、一度必要な要員に訓練したからそれで良いという訳ではないと思います。訓練は定期的につけてやっていかないといけないと思うので、この点をよろしくお願ひしたいと思います。</p>	<p>貴重なご意見として承っておきます。</p>
<p>⑮ 北九州空港の活性化について、福岡空港が民営化されるというニュースがありました。北九州空港の運営に関し、民間の手を借りるということを議会で検討されているのですか。</p>	<p>現在のところそのような話は聞いておりません。</p>
<p>⑯ 介護について、親は足に障害があり高齢で働くことができず、その介護を知的障害がある子どもがやっている状況があります。このような点について議員の皆さんはどのようにお考えかお聞きしたいと思います。</p>	<p>切実なお話をいただきましたが、地域でもしっかり見守っていくことができる、そして24時間体制で専門家が駆けつけることができるような体制を作っていきたいと思っています。</p>
<p>⑰ 防災訓練を行ったということですが、この広報について市政テレビなどを十分に活用していただきたいと思います。</p>	<p>本日の議会報告会のように、議会は皆様に広報することに努めています。市議会だよりのご質問がありましたが、インターネット、市政だよりなどもあります。いただいたご意見を十分検討して今後の広報活動に活かしていきたいと思っています。</p>

平成26年11月21日(金) 議事堂議場

質疑・意見の要旨(当日回答保留分)	議員回答要旨(当日回答保留分)
<p>① 「北九州市空き家バンク」制度の年間利用率はどのくらいですか。</p>	<p>「北九州市空き家バンク」制度は、平成26年4月から始まった制度で、まだ年間実績は出ておりませんが、平成26年12月17日現在、登録件数33件(売却31件、賃貸2件)、成約件数3件(売却2件、賃貸1件)となっています。 ※最新状況、区別の詳細状況につきましては、市ホームページ(「北九州市空き家バンク」)をご覧ください。</p>